

## ヒアリングを踏まえた委員のコメント例（令和2年度SDGs未来都市選定自治体）

No.	提案者名	コメント例
1	岩手県 岩手町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリプルボトムラインから始まる取組の体系化は高く評価でき、実現可能性も高いと考える。小規模自治体SDGsのモデルとなり得る例である。</li> <li>・未来塾、起業塾、リビングラボから構成される連携のプラットフォームが共創アート、スマート農業、森林マネジメントの具体的な取組の基盤となり、企業認証、インパクト投資等につながる仕組みが高い水準で検討されていることが高く評価できる。</li> <li>・SDGs認証制度など、メリハリが効いていて興味深い内容である。</li> <li>・小規模自治体の野心的な提案である。マルチステークホルダーを繋いでリビングラボを運営していく人材、国際連携に携わる人材が重要なキーになるとともに、リビングラボの具体的な組織形成と事業推進の準備も必要と思料する。</li> <li>・農業、スポーツ、工芸ものづくり、芸術などの文化活動や事業をカルチャーと位置づけブランド化して具体的に動いており、三側面の好循環が生まれる可能性を感じる。実行性についてさらなる検討を期待する。</li> <li>・シビックプライド、SDGs姉妹都市などSDGsをきっかけとする幅広い取組の議論が行われており、評価できる。</li> <li>・町の強みと弱みを的確に把握しており、SDGs認証マークなどクリエイティブな施策が提示されているので財源に関して具体的な検討を期待する。</li> <li>・畜産と農業の連携は、海外姉妹都市連携でノウハウを輸入するのか、具体的な検討を期待する。</li> <li>・包括的で可能性を感じるが、より具体的な事業提案が望まれる。</li> </ul>
2	宮城県 仙台市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災環境都市として、経済面は新産業、社会面は防災リーダー、環境面は温室ガス削減、エコなど骨格のしっかりとした実現性の高い提案である。</li> <li>・防災・減災に特化した取組は評価できる。モデル事業も非常に具体的にである一方、推進体制等の一部に関して、詳細に検討することが望まれる。</li> <li>・防災は必要なテーマであり、社会一平時の助け合い、合意形成が入るとよいと考える。人材育成（防災リーダー）等の方法については具体的に検討いただきたい。</li> <li>・防災環境プロモーションとふるさとの杜再生プロジェクト、温室効果ガス削減プログラムが相互に連携するための情報共有の仕組みと、横断的な参加のプロセス設計などを期待する。</li> <li>・防災が先行している印象を受けるため、防災を基軸に三側面をつなぐ手法や、防災の視点に立った新たな産業創出、防災環境プログラムの分野横断の自立好循環の推進、防災都市と脱炭素社会の取組の連動などをより具体化することが期待される。</li> <li>・全体的に説得力のある提案であるが、アクションプログラムはどれだけの広がりを持ちうるのかをもう少し具体的に示すとともに、全体として環境面の深堀を期待する。</li> <li>・震災を前提にした防災モデルとなっており、感染症のような自然災害以外の災害にも対応できる防災モデルの構築が求められる。社会面において自然災害の防災リーダーの養成とともに、住民の合意形成や支援ネットワーク形成など、あらゆる災害対応の基幹となる平時の地域力の醸成に注力することに期待する。</li> </ul>

3	宮城県 石巻市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の復興事業から、経済の自立に向けてSDGsに取り組むもので、少子高齢化と人口減少に伴う喫緊の課題である移動手段と孤立の解決を目指して、ICT、カーシェアリング、ロボット、地域組織で解決する手法は面白く、経済、社会、環境の3価値を追求する具体的な提案で、ステークホルダーも明確であり、実現性が高い提案となっており、優れた取組で期待できる。</li> <li>・具体性も説得力もあり、大いに期待したいモデル事業である。</li> <li>・パートナー制度、未来企業制度やグリーンスローモビリティ等の新しい要素を積極的に取り入れながらも、体系性が追求されており、評価できる。</li> <li>・未来企業登録制度には期待しており、また、ハイブリットリユースについても興味深く、評価できる。</li> <li>・MaaS (Mobility as a Service=サービスとしての移動)、SDGsパートナー登録制度等で確実な先導事業を期待する。</li> <li>・震災後の復興の取組でのコンソーシアムと金融機関が連携した具体的なパイロット事業の取組の準備検討ができていることを期待する。また、グリーンスローモビリティの早い段階での事業実現が先導的な波及効果を持つことを期待する。</li> </ul>
4	山形県 鶴岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市全体の三側面の強化が可能な、魅力的な提案である。</li> <li>・サイエンスパーク企業を軸に公民連携の仕組みができており、事業者認証を広げる自立好循環のスキームが機能することを期待する。エリアのスマート化、人材活用の先導的な実践へのできるだけ早い着手実現が必要である。</li> <li>・「スマート・サイエンスパーク」等、興味深い事業が見られる一方、多様な事業を盛り込んでいるため、全体の体系に統一感や具体性を持たせるとよい。住民が担い推進していく提案を期待する。</li> <li>・市全体の①経済面②社会面③環境面の三側面強化は可能である一方、モデル事業において具体的な検討を期待する。</li> <li>・プラットフォーム事業の推進を期待できるが、具体的な事業のコンテンツの検討が必要である。</li> <li>・サイエンスパークを先導的なパイロットとすることを期待する一方で、全体に展開するプロセスの検討も必要である。</li> <li>・サイエンスパークのMaaSを周辺の中山間地域に展開する具体的なプロセス等について、追加的な検討が必要である。</li> </ul>
5	埼玉県 春日部市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KPIや情報発信など、市民目線が意識されており、そのため実現可能性が高いことが予想される。また、パートナー制度についても期待できる。</li> <li>・高齢化が著しい団地の再生は非常に重要な課題であり、そこに着目している点は評価でき、UR都市機構と連携し、抜本的な戦略を展開することが望まれる。</li> <li>・母親が輝く未来の私ビジネスへの取組など独創的な検討が行われており、評価できる。</li> <li>・建築を学ぶ学生の場合としてリノベーションを行うというのは興味深い。</li> <li>・自治体がUR、大学と連携する住宅リノベーションのモデル事業の先導例となることを期待する。</li> <li>・自治体とUR、SDGsパートナーズなどの連携を評価する。一方で、具体的な事業の推進体制の検討を期待する。</li> </ul>

6	東京都 豊島区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都の密集地域における公園を核とした公民連携のまちづくりはユニークな提案である。これまでの実績に基づいた具体的提案は実現可能性が高い。</li> <li>・アートを中心に、官民連携モデルで、区が中心となる手法をとっており、包括的な計画づくり、タウンマネジメント協議会、地域企業との連携、地域還元費等の取組の高いポテンシャルに期待する。</li> <li>・総花的になりがちな自治体ながら、テーマを絞り込んだ計画には大きな可能性を感じる。それぞれの事業も具体的であり、評価できる。</li> <li>・単身高齢者、外国人が多い等の都市課題を明確に把握しており、アート・公園を切り口に交流とにぎわい創出する計画となっており、評価できる。</li> <li>・社会的な取組を経済的な活力につなげることを期待するとともに、環境面についてのさらなる取組の検討ができる印象を受けた。IKEBUS、FF パートナーシップの取組の波及的な広がり of 仕組みが必要と思料する。</li> </ul>
7	神奈川県 相模原市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民レベルで「誰一人取り残さない」意識を広げており、「森のコイン」事業、バイオマスポイラーを含む包括的な、相模原ならではの取組等を戦略的に組み立てている点は評価できる。</li> <li>・障がい者に焦点を当てるのはSDGsの理念として、またこれまでの未来都市との比較でのユニークさを出すうえでもよいモデルである。プラットフォームについて、より具体化を期待する。</li> <li>・間伐材の活用だが、森のコインや障がい者の参加などは、良いアイデアであるが、産業の自立という視点から見ると、根本的な林業の課題解決に結びつけられるとより良いと思料する。</li> <li>・森のコイン、森林バイオマス、スマート林業の幅広い持続可能な森林の取組をSDGsサイトで共有することなどの選取的な取組は高く評価されるものの、この森での取組を都市の住民の暮らし、共生の思いに転換するための官民連携のコンソーシアム、事業認証等のスキームの検討が必要であると思料する。</li> <li>・三則面や事業全体をより統一化し、事業間の連携の仕組みや担い手を明らかにするとより良いと思料する。</li> <li>・共生と森林都市のコンセプトを具体化する事業体制の検討が必要と思料する。</li> </ul>
8	石川県 金沢市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーバーツーリズムや消費型観光から責任ある持続可能な交流型観光を意識した事業の体系化や提案は注目され、金沢の町を守りまた活かすうえで大きな魅力となる。</li> <li>・工芸継承、食品ロス削減、多文化社会などの金沢の特性を束ねるSDGsツーリズムの具体的な事業を検討できていることを高く評価する。</li> <li>・金沢SDGsツーリズムを通じて、幅広い、循環経済の効果、多様な文化の発信、暮らしやすさの向上に展開する枠組みは高く評価できる。</li> <li>・観光、伝統産業、文化の理解度向上と本市らしい循環を作り出せる可能性があると思料する。</li> <li>・観光以外を中核とする社会、経済、環境の取組についての検討があったことを高く評価する。</li> <li>・観光は日本の基幹産業のひとつであり、従来の観光地だけでなく、ほとんどの自治体が地域資源を活かして観光産業を興す可能性を有している。SDGsを追求する責任ある観光地、観光客のモデル形成（SDGs Tourism）は、広く他地域への貢献も期待できる。</li> <li>・観光以外の幅広い経済、社会の取組の説明や、ステークホルダーを広げる仕組みも期待できる。</li> </ul>

9	石川県 加賀市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートコミュニティを起点に再生エネルギー、スマート都市、MaaSの事業が検討されている点で評価できる。</li> <li>・三側面のバランスが良いとともに、女性の活躍、エネルギー会社の設立等、具体的な事業での実践が可能な内容となっている。</li> <li>・MaaS、地域エネルギー事業についての具体的な体制が検討、準備されており、具体的なパイロット事業が進むことを期待する。</li> <li>・モデル事業に宣言、協定、協議会の立ち上げなどが報告されているが、一方で具体的な実行の仕組み、担い手についてより明確化が望まれる。</li> <li>・スマートシティを活用する推進方策に期待する。パートナー制度等を検討することが望まれる。</li> <li>・公共施設、企業、家庭の屋根に太陽光パネル設置での発電と新電力会社での買取りを真剣に進めるとすれば、自給電力発電が可能であると思料する。</li> <li>・全体計画が理念先行型であり、そこに地域特性をうまく反映することを期待する。</li> </ul>
10	石川県 能美市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体計画と比較して、モデル事業は具体的であり、特に自律的好循環事業が評価できる。</li> <li>・「お人柄プロジェクト」を中心として概念は素晴らしいが、事業効果が得られるようにより具体的、抜本的な事業提案を期待する。</li> <li>・お人柄プロジェクト、実践塾等のプラットフォームの構築、支援ファンドなどの相乗的な取組の推進を期待する。</li> <li>・「のみ力向上実践塾」のより具体的な取組について、検討と説明が必要である。</li> </ul>
11	長野県 大町市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水資源の豊富さに着目した点は評価できる。より具体的な戦略を検討することが望まれる。</li> <li>IoT・ロボットの導入とあるが、具体的な検討が望まれる。また、好循環が作り出す戦略の深堀が望まれる。</li> <li>・準備的な検討を進めていることは評価できる。事業パートナーについては、より具体化が望まれる。</li> <li>・全体計画は体系性が高く、評価できる。モデル事業に関しては、具体性や実効性の提示が望まれる。</li> <li>・水の地域ブランド化の三側面への展開は高く評価されるものの、サステナブルツーリズムと、製造業、農業との連携等の検討が必要であると思料する。</li> <li>・水の地域資源活用の準備的な検討を進めていることは評価できるが、「人口減少の克服」に繋がる具体的な事業推進の仕組みや担い手についての検討が必要である。</li> <li>・企業誘致、起業支援の具体的なスキームの検討が必要である。</li> </ul>
12	岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総花的になることが多い県レベルの提案の中で、「長良川システム」へのターゲットィングに成功している。「3つのC (Communication、Collaboration、Contribution)」も興味深い。</li> <li>・森林関係産業、清流ツーリズムなど、幅広い経済的な取組と総合的な取組の説明は高く評価される。企業、大学等が連携する推進体制の検討を期待する。</li> <li>・清流づくりと森林産業という岐阜スタイルのSDGsへの県としての取組の先導性と波及性について期待する。</li> <li>・長良川のアユの3C戦略について、政策は記述しているが、より抜本的な内容となることを期待する。プラスチックごみへの対策についても、より効果が得られる内容とするため、具体的に検討することが望まれる。</li> <li>・清流と産業競争力強化(航空宇宙産業)との関連も明示されることが望まれる。</li> <li>・ステークホルダーとの連携について、金融に関する部分を検討することが望まれる。</li> <li>・三側面の構想に新規性が望まれる。</li> <li>・清流の国ぎふを作る提案であるが、具体的な事業が望まれる。</li> </ul>

13	静岡県 富士市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山を守り抜く戦略で、紙産業を基盤とした CNF の産業育成、ユニバーサル就労、トイレトレーラー開発、森林管理では企業負担を求めている点が特徴的である。経済、社会、環境にそれぞれに具体的な事業提案がなされ、好循環としても期待できる。</li> <li>・全体計画に比較して、モデル事業がユニークであり、事業内容も充実しており評価できる。</li> <li>・三側面の事業が具体的で土壌ができおり、実現可能性が高い。共想・共創のうち、共想がなされる仕組みの明確化が望まれる。</li> <li>・CNF の実用化、中小企業の経営支援、お茶、森林のブランド化の先導事業を展開して、環境面や社会面の取組を広げることにより共創プラットフォームがどのように事業認証をして、自律的好循環の流れをどのように形成するかの明確化及び具体化が望まれる。</li> <li>・企業連携、ファンディング等の検討を活かした実践を期待する。</li> <li>・共創プラットフォームと幅広い分野の具体的な事業の検討を期待する。</li> <li>・プラットフォームの構築と公民連携の事業の取組、プロジェクト登録推進体制等を期待する。</li> </ul>
14	静岡県 掛川市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新電力と生涯学習、地域運営組織（まちづくり協議会）の連携は本市らしい取組であり、その実効性も高く、モデル性も評価できる。</li> <li>・新電力事業を中心にした三側面をつなぐ提案であり、その収益を地域に還元する仕組みを構築している。スマートシティの推進も提案しており、効果が期待できる。</li> <li>・再生可能エネルギーを作り出す手法はごみ発電なのか、シュタットベルケのように循環できるか、具体的な検討が望まれる。</li> <li>・おむつのリサイクルは目新しく、期待できる。</li> <li>・新電力事業からの収益で地域課題を解決する構想は現実的である。実際には新電力事業と地域課題解決を主導する担い手は異なると思われるが、地域課題解決事業の形態については、地域新電力会社を中心とする企業が主導するように想定されており、住民団体の位置づけについて、明確化が望まれる。</li> <li>・地域新電力会社、地域交通システム等、具体的な事業の検討とともに、その収益を相互で有効に活用する、運営体制を共同により効率化する、情報基盤を共有するなどの連携体制の検討を期待する。</li> <li>・また、地域新電力会社を交通システム、地域連携の基軸として活用することを期待する。</li> </ul>
15	愛知県 岡崎市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案書の全体構成をよく理解した、丁寧な記述の提案書であったのが印象的である。モデル事業も地域資源を活かしている点で評価できる。</li> <li>・プラットフォームと自治体のリーダーシップをもった、二側面の好循環が期待できる。</li> <li>・SDGs を目指す経済・社会・環境課題を行政が提示し、全市民、事業者が開かれたプラットフォーム「SDGs 公民連携相互提案プラットフォーム」で誰でも課題解決策を提案できるシステムは極めて民主的で望ましいものである。課題解決まで至る運営の仕組みと担い手が重要となるため、より一層の深堀を期待する。</li> <li>・先導的地域開発を想定することは評価でき、事業者、企業との連携を期待する。</li> <li>・ナイトタイムエコノミーというのは興味深い発想である。民間アイデアを生み出そうという発想は大変良いと考える一方、そのプロセス管理などについて、行政の役割を含め、より具体化することが望まれる。</li> <li>・乙川モデル事業の先導的な事業の計画は評価するが、三側面の相乗的な先導的な事業を実現することと、SDGs 型の地方創生につながる展開性、一般性の更なる検討を期待する。</li> <li>・市民の生活満足度等について、具体的に検討することが望まれる。</li> <li>・地域電力会社、林業商社の経営が重要であると思料する。</li> </ul>

16	三重県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三側面を繋ぐ統合的取組において、「次代を担う大学生等の若者チームを組成」する点はモデル性があり、評価できる。</li> <li>・四日市の公害を糧に、環境問題に真剣に取り組んでおり、若者を主体としたと取組は魅力的である。モデル事業について、より具体的な検討を期待する。</li> <li>・脱炭素プロジェクトを具体化する環境面の取組として、地域エネルギーや交通事業の先導事業を期待する。</li> <li>・シビックプライド、海洋プラ対策、ICT活用、ミッションゼロなどの幅広い取組をSDGsの中で具体的な先導事業について検討推進することを期待する。</li> <li>・若者や女性重視の取組である点は評価できるが、より焦点を絞った提案が望まれる。脱炭素とSDGsとのすみわけを期待する。</li> <li>・若者の県外流出は地方自治体の大きな課題である。地域課題の解決に若者の参画を促す取組は、学ぶ場、遊ぶ場などと組み合わせると初めて目的を達成すると思われる。生活全体をとおして若者をひきつける仕掛けが必要であると思料する。</li> </ul>
17	三重県 いなべ市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを経済に仕立て、カジュアル、カワイイ等の視点から創発する発想は面白く、未活用な自然資源を活用し、楽しくワクワクする場と機会を創る、遊びのビジネス化という独創的なアプローチでSDGsを達成する優れた提案である。SDGsを啓蒙するのではなく、楽しんで知り、動き出せるようにする仕組みであり、成功すれば素晴らしいモデルになると思料する。</li> <li>・ワーディングから事業内容、そして体系性まで考え抜かれている。特に「いなべSDGs 共栄圏」の発想はSDGsの本質を射貫いており評価できる。</li> <li>・賑わいの森を中心に、商業等の出店加速、移住定住、山林活用と好循環になっているので、より独創的な事業となるよう検討されることが望まれる。</li> <li>・グリーンインフラを活用する事業について評価できる。経済活力の創生や、エネルギー、交通等の取組の更なる事業展開の検討を期待する。</li> <li>・山辺など独自のコンセプトは理解が難しく、具体的に成ればなるほどSDGsらしさが失われていると思料するため、検討が望まれる。</li> <li>・にぎわいの森を中軸とする、里山的自立好循環の実現を期待する。</li> </ul>
18	滋賀県 湖南市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小規模ながら、域内電力循環と地域外の消費電力金額の還流などによるシュタットベルケの実現性が高く評価できる。・「こなんウルトラパワー株式会社」の事業の展開として、その収益の環境面、社会面での活用など、より事業展開の具体化を期待する。・「(仮称)こなんソーシャルイノベーション連携協議会の」設立や、グリーンボンド発行を基軸とする事業展開等により、「こなんモデル」がより独創的になることを期待する。・シュタットベルケの具体化案としては一定程度詰められていると考える。今後は、具体的な活動分野における、市と「こなんウルトラパワー(株)」の役割分担が積み上げられていくことが期待される。・地域エネルギー事業が具体的に収益を上げるための需要促進、まちづくりの取組とともにその収益を社会、環境の事業に展開するための協議会の運営システム、グリーンボンドの活用スキーム等の具体的な検討を期待する。・シュタットベルケ構想の内実の説明をより充実させること、更に三側面の統合に一步踏み込んだ構想の検討が望まれる。</li> </ul>

19	京都府 亀岡市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術祭を統合的取組のハブに位置づけ、ごみゼロ、農業支援等の幅広い事業を実施する発想や、丁寧に仕組まれた個別事業等が高く評価できる。</li> <li>・アートで市民の行動を変革させ、プラゴミゼロを目指す仕掛けは、理屈から楽しさや魅力で人を動かすものであり期待できる。</li> <li>・プラスチックごみゼロの実現に向けての具体策などをアートで連携する取組は独創的であり、興味深いのが、経済面の強化など、よりSDGsと関連性を高め、効果のある取組について検討することが望まれる。</li> <li>・地域課題の分析が的確であり、それを踏まえた提案である。</li> <li>・スタジアムをSDGs拠点として展開する試みと、ごみゼロ等の連携の検討が望まれる。</li> <li>・アートマーケット、まちなかプロジェクト、プラごみゼロプロジェクトなど多様な取組がイノベーションハブなどで連携することを期待する。</li> </ul>
20	大阪府 ・大阪市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・府と市一体でSDGsビジョンを作成しており、万博での実証実験から実装を目指し、帯水層蓄熱技術活用や、ブルーオーシャンモデルによる産業振興を図るモデル事業は充実しており、ダイナミックな提案であり評価できる。</li> <li>・実行計画の策定、実施体制の構築、三側面の事業も具体的でモデル事業として成果が期待できるため、さらなる先進性を期待する。</li> <li>・SDGsビジネス支援資金なども注目される点であり、連携メリットについて、強調してもよいと考える。</li> <li>・ジャパンSDGsアワードで受賞したような指標の活用も期待する。</li> <li>・プラスチックリサイクル、ブルーオーシャンなどの循環経済を基軸とする事業をSDGsの幅広いスコープに展開するなどの展開性について検討することが望まれる。</li> </ul>
21	大阪府 豊中市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍、子育て支援、市民参加、職住接近等、住宅都市としての特徴を上手くつなげており、三側面の統合事業はインパクトがあり独自性もあり評価できる。</li> <li>・経済、環境事業についてより具体的な計画を検討し、好循環へ繋げられることを期待する。</li> <li>・SDGsコミュニティ事業に期待できる一方、具体的な検討が必要であると考ええる。</li> <li>・南部コラボセンター、包括ケアシステムを幅広い地域連携につなげるためのプロセスの検討を期待する。</li> <li>・地域の子育て支援を構築する豊中モデルの検討、パイロット事業の検討を期待する。</li> <li>・子育て世帯の定住はすべての自治体が望むところであり、各自治体では重要課題として様々な取組が行われている。提案されている多世代交流の場づくり、高齢者だけでなく全世代型地域包括ケアシステム、職住近接の取組はすでに多くの自治体で実施されており、それらを超える解決策が望まれる。</li> </ul>

22	大阪府 富田林市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常は公金が投入される市民の健康維持・増進事業であるが、地域の資源（大学、企業、それに加えて市民による受益者負担など）をすべて活用する産官学医包括協定（TOMAS）に基づき、次々にユニークな取組を創出している。成功すれば横展開が可能であり、評価できる。</li> <li>・三側面をつなぐ考え方に「商助」を置き、各分野（健康、環境、経済）を繋げることで、民間企業、市民との連携による事業実施を想定しており、小さい規模だが具体性があり、評価できる。</li> <li>・医師会が正面から参画した産学官連携の試みとして重要かつ興味深い。</li> <li>・モデル事業は、TOMAS（富田林市産官学医包括連携協定）を活かした特徴的な計画であり評価できるが、全体計画についてはより具体的な計画を期待する。</li> <li>・ウエルネストレイル、エコロジータウンなど興味深い事業を将来のビジョンに展開する検討を期待する。</li> <li>・健康指導、人材育成をどのようにアルケア等の仕組みから幅広い健康産業、ビジネスに展開するかの仕組みと地域のコミュニティが参加することの具体的な検討を期待する。</li> <li>・この健康事業は感染症にはどう対応できるのか、また、出てきたアイデアをどう生かすかななどの、明確化が望まれる。</li> </ul>
23	兵庫県 明石市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・孤立解消、ゴミ削減、中小企業者の活性化等、三側面の具体的な事業提案がなされており、評価できる。</li> <li>・モデル事業のおむつ宅配事業はインパクトがある。他の事業についてもより独創的な計画となるよう、検討することが望まれる。</li> <li>・おむつの宅配&amp;リサイクル事業は独創的であり、紙おむつを使う子育て世代や要介護高齢者世帯の孤立解消には有効であると思われるが、現実性について検討が望まれる。</li> <li>・高齢者見守り事業、子育て支援事業を、地域流通事業者、ICT ビジネスと連携する等の検討を期待する。</li> <li>・事業承継ネットワーク、商店街活性化をどのように地域福祉ネットワークや環境面の対策につなげるかの検討を期待する。</li> </ul>
24	岡山県 倉敷市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倉敷市が高梁川流域の6市3町と連携し、地域の産官学民金総力あがてての人材創出事業とデータ活用による防災強化事業の提案はダイナミックな提案で、成功すれば人口減少時代における地方自治体運営の優れたモデルとなる。また、流域の持続可能な街を実現させる具体的な提案であり、パートナーシップの好事例として評価できる。</li> <li>・河川管理から連携を促す発想は国際的にも通用し、モデルとなる可能性を感じる提案である。</li> <li>・実質的に圏域（流域）単位のSDGsであり、その挑戦が注目される。またビッグデータ・オープンデータ利用を意識している点も新しく評価できる。</li> <li>・人材育成とデータ活用により災害に強い街を目指すものであり、まだ調査計画段階だが、自走による将来の効果が見込まれる。</li> <li>・圏域連携の検討は高く評価される一方で、企業、事業者との具体的な連携協議や、幅広い地方創生への展開等に期待する。</li> </ul>



25	広島県 東広島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島大学と連携した国際研究拠点を形成し、その土台から三側面の事業を展開する提案であり、特徴あるモデル事業提案である。</li> <li>・大学を中核とするイノベーション、国際交流推進はSDGsの規範となることが期待される。更なる具体的なパイロット地区の設定等が期待される。</li> <li>・自治体SDGsモデル事業では、広島大学の経営資源を利用した三側面の統合的取組が特徴的であるが、より独自性が高まることを期待する。また、全体計画においても、広島大学と連携イノベーションを起こせる地域として、より大胆な提案を期待する。</li> <li>・大学の国際交流機能を地域の経済、社会、環境行動に展開することのプロセス設計を期待する。</li> </ul>
26	香川県 三豊市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストーリーを大事にする方向性は好ましく、タラ財団との連携に期待したい。</li> <li>・海外企業との提携も具体性があり、小規模自治体であるが達成できる可能性は大きい。</li> <li>・自治体SDGsモデル事業のスマートアイランド構想は、面白い取組であるため、一体的な運営組織、投資の連携等、瀬戸内ワークスの広がりやさらなる展開や、より具体的な内容検討を期待する。</li> <li>・MaaS、観光産業、ICTの活用などは地域内外の連携で具体的なモデル事業が進められることを期待する。</li> <li>・多極分散型ネットワークの形成を活かした多層的な取組を期待する。</li> </ul>
27	愛媛県 松山市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済に関しては観光を軸に、社会は防災を軸に、環境では再生可能エネルギーに挑戦し、三軸の好循環が構築できている。</li> <li>・地域ごとに設計図を変えて、三軸の好循環を作り出す政策となっており、サンシャイン事業、女子旅、コンパクトシティによる好循環という発想は面白い。</li> <li>・自治体SDGsモデル事業の各事業はよく検討されており、三側面の統合的取組についても実効性が高いものと思料する。</li> <li>・各地区で行われている種々の取組を連携し一体的に推進する「松山SDGsプラットフォーム」は独自性もあり、好事例となることを期待するが、よりSDGsの側面を強化するとともに、事業者間での価値、投資の連携について、さらなる説明を期待する。</li> <li>・幅広い取組を「松山SDGsプラットフォーム」で体系的に進めることに期待する。</li> <li>・地産地消エネルギーのネットワーク展開、地域モビリティの具体的な事業検討を期待する。</li> </ul>
28	高知県 土佐町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水を中心とした提案となっている点は評価できるが、水源涵養からシビックエコノミーを創出するメカニズムについて更なる検討や、具体的な事業の推進を期待する。</li> <li>・ソーシャルインパクトボンドの具体的活用の試みとして興味深い。</li> <li>・統合的取組は水源涵養や保全の調査・研究であり、その後の地域経済全体の循環を実現する筋道と担い手（特に民間）についての明確化が期待される。</li> <li>・ステークホルダーとの連携部分で金融機関との連携について、具体的な検討が望まれる。</li> <li>・水資源を実際の経済的なビジネスに転換できる工夫が望まれる。</li> </ul>

29	福岡県 宗像市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産都市である観光とDMO (=Destination Management Organization) を柱に、環境と市民生活の向上を目指す提案である。実践できれば効果は大きい。</li> <li>・ステークホルダーとの連携が充実している点は評価できる。自治体SDGsモデル事業については、世界遺産(『神宿る島』宗像・沖ノ島)と「まちなか」との関係性を明確にする必要がある。</li> <li>・ワーケーション、インクルーシブ教育、地域金融機関の搬送支援体制など、特徴のある試みが評価できる。</li> <li>・三側面の事業提案はなされているが、実行性の面で更なる検討が期待される。</li> <li>・水源保全、水源涵養の取組を地域の持続的な資産として活用する方向性は高く評価されるものの、具体的な事業の活性化、企業誘致、住民活動支援に具体的にソーシャルインパクトボンドを活用する、先導的な取組を具体的に提示することが望まれる。</li> <li>・「宗像国際環境100人会議」の活用は有望であるが、「トレファームで健康長寿」についてのさらなる工夫を期待する。</li> <li>・UR、トレファームまちなか再生等がどのように相乗効果をもつのかについての具体化を期待する。</li> <li>・インクルーシブ教育、地域金融機関との連携などの取組を期待する。</li> <li>・トレファームで観光客をまちなか(団地地域)に誘導するためのアイデアを、若い市民から募るのも一案であると思料する。</li> </ul>
30	長崎県 対馬市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島モデルで自立と共存をかけた、漂流プラスチックを資源と見立て活用する等の発想は独創的かつユニークな提案であり、現実的な提案である。</li> <li>・極めて完成度が高い提案である。すべてがサーキュラーエコノミーに繋がる構図となっており、高く評価できる。従来からの蓄積もあり、実行性は高いと考える。</li> <li>・サーキュラーエコノミーを中核として三側面を繋げる構想は優れており、海ごみのリサイクルがそのキーとなるが、その担い手、ファイナンスについてより明確化が期待される。</li> <li>・対馬グローバル大学も含めて運営主体の力量が実効を左右すると考えられる。</li> <li>・森里海の再生、循環経済の推進、海洋プラ対策、自立企業支援、地域教育等の幅広い取組の検討が分野横断で相乗的に推進されることを期待する。</li> <li>・漂流プラスチックごみ対策が地域の循環経済につなげるための具体的な再生産、循環消費の仕組み等について更なる検討が望まれる。</li> </ul>
31	熊本県 水俣市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水俣の海の再生を終え、ごみのリサイクル、観光、人材育成へと次にステップに向かう提案であり、規模は小さいが実効性は高く、評価できる。</li> <li>・全体計画は水俣市らしさがある高水準のものとなっており、自治体SDGsモデル事業は全体計画と比較するとややインパクトが弱いですが、総じてよく検討されている。</li> <li>・海の再生を終え、新たなステージの取組であり、着実であるが、より新規性、モデル性をもつことが期待される。</li> <li>・カーシェアリングと、水俣体感・アクティビティ拠点間の連動する拠点機能の展開について更なる検討を期待する。</li> <li>・環境観光、地域農業、地産地消エネルギー、循環経済等の具体的な事業の検討や、水俣の環境都市としての社会経済資産を活用する具体的な事業の検討を期待する。</li> </ul>

32	鹿児島県 鹿児島市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の大学、企業を含めてのプラットフォーム形成とその活用がカギとなると思料するため、自治体のリーダーシップが必要であり、実践できれば効果は期待できる。</li> <li>・都市ブランド力の向上による交流・関係人口の拡大と環境学習の拠点「かごしま環境未来館」を人材育成の核とする提案であり、更なる創造性を期待する。</li> <li>・人材育成と若者活用を目指した、市内の6大学との連携が重要であると考える。</li> <li>・マグマシティとしての観光、防災、まちづくり、教育の一体的な推進の相乗効果を期待する。</li> <li>・桜島を地域資源として活用する、観光産業、災害対応、教育システムの構築による先導的な取組を期待する。</li> <li>・自治体SDGsモデル事業の各事業はよく検討されているが、全体計画のより具体化を検討することが望まれる。</li> </ul>
33	沖縄県 石垣市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離島として特殊な環境の中で自律的好循環を実現できるモデルを提案しており、民間企業との連携という点においても優れている。地域社会の文化・慣習を踏まえた貧困削減、共生社会の取組も実効性がある。</li> <li>・ゴール16（平和と公正をすべての人に）を目標に含んでいる例は珍しく、期待できる。</li> <li>・認証制度の提案は期待できるが、自治体SDGsモデル事業のより一層の体系化が望まれる。</li> <li>・離島での三側面の好循環を狙った観光を軸にした新ブランド、人材育成、海洋環境の保全の取組であり、自治体のリーダーシップが不可欠となる。</li> <li>・地域ブランディング、ブルーカーボンオフセット、MaaS、海洋プラ対策、サンゴ保全等の幅広い事業のSDGsプラットフォームでの推進を期待する。</li> <li>・地産地消の経済、消費、エネルギーシステムを実現することで先導的な実践を可能にすることを期待する。</li> <li>・共生社会の実現が課題であると思料する。</li> </ul>

※都道府県・市区町村コード順